

長野市立長野高等学校・中学校と、NPO 法人青春基地は、
教育と地域の新しい可能性を探るため、3年間の連携協定を締結しました。

2019年4月より、NPO法人青春基地（代表理事・石黒和己）および、長野市立長野高等学校・長野中学校（校長・菅沼尚）は、3年間の連携協定を締結し、「PBL(Project Based Learning)」のカリキュラム導入を軸とした協働をスタート。価値観や課題が複雑化・多様化していく社会にむけて、教育と地域の新しい可能性を探るものとして、以下3つの柱をもって取り組んでまいります。



■本協定における3つの柱

- 1) 未来の「学び方」
- 2) 未来の「学校の在り方」
- 3) 未来の「教育課程の在り方」

本取り組みでは、子どもたちの学びの変革だけでなく、担い手となる地域の大学との連携や、教職員の意識変容など、多角的に未来の教育のあり方を模索していきます。



■市立長野高等学校・中学校とは

長野県内において唯一の市立高校であり、中学が併設された中高一貫校です。単位制・総合学科という特色をさらに活かすべく、生徒たちが自身の可能性に気づき、進路や生き方を主体的に考えられる学びをより拡充していきます。

■今年度の主な取り組みについて

初年度となる2019年度においては、高校1・2年生の科目を中心に、教員と協働してカリキュラムをつくります。たとえば2年次の授業では、年間かけて、地域のことや将来の夢・学問領域など、生徒ひとりひとりの興味関心からプロジェクトを立ち上げ、「やってみる」ことを通じて学びます。
高校1年生（160名）「産業社会と人間」
高校2年生（160名）「課題探究プログラム」

写真(上)：市立長野高等学校での2年生の初回授業(4月6日)の様子

写真(下)：左から、市立長野高校,中学校長 菅沼尚/長野市教育長 近藤守/NPO法人 青春基地代表理事 石黒和己(※敬称略)

NPO法人青春基地とは



「生まれ育った環境をこえて、一人ひとりに想定外の未来をつくる」をビジョンに掲げ、子どもたちの好奇心や創造性を育むために、全国の公立高校に「PBL (Project Based Learning)」という出会いと経験のなかで学んでいく新しい学びを導入するなど、未来の学校づくりに取り組んでいます。
本取り組みでは、授業のカリキュラムデザインや県内外の学生・社会人メンターによる授業運営にとどまらず、長野市周辺で活動する様々な人や文化を学びにつなぐコーディネートや学校内での学びのコミュニティづくりを担います。

【本件に関する問い合わせ先】

特定非営利活動法人 青春基地（担当：酒井）

電話：090-5151-9924（代表直通） mail: info@seishun.style

【取材申し込み】

*取材をご希望の際は、メールにて申込みをお願いいたします。

長野市立長野高等学校・長野中学校と
特定非営利活動法人青春基地の連携に関する協定書

長野市立長野高等学校・長野中学校（以下「市立長野高校・中学校」という。）と特定非営利活動法人 青春基地（以下「青春基地」という。）は、相互の連携について、次のとおり協定を締結する。

1 趣旨

テクノロジーの進化やグローバル化などにより、社会が急速に変化しつつある今、教育もそのあり方が問われている。同時に日本の多くの地域が抱えるように、長野市及び長野県もまた、少子高齢化や人口流出など地域の課題が浮き彫りになっている。

今後一層、不確実性が高まり、価値観や課題が複雑に多様化していく社会にむけて、市立長野高校・中学校および青春基地は、教育と地域の新しい可能性を探るものとして、連携・協力することをここに合意した。

この取り組みを通じて、子どもたち一人ひとりの可能性を育み、新たな教育的価値を創造するとともに、地域の魅力や可能性を引き出し、持続可能な地域社会づくりを目指していく。

2 連携内容

具体的には、以下3つの柱をもって取り組むこととする。

(1) 未来の「学び方」

- ・ 「総合的な学習（探究）の時間」において、Project Based Learning (PBL) を用いた課題探究活動のカリキュラムを開発すること
- ・ 校舎のなかにとどまらない実践的な学びを通じて、地域との接点を構築することにより、新たな学びの形を創造すること

(2) 未来の「学校の在り方」

- ・ 産官学（民）コンソーシアムのもとで、若者の地域参画を推進し、イノベーティブな地域の担い手を育成すること
- ・ 多様な人材の交流を促進し、地域、中学・高校相互の価値を高めること

(3) 未来の「教育課程の在り方」

- ・ 教員の役割や授業の在り方を含む、従来の学校の枠組みに因われない新しい教育課程の構築に取り組むこと
- ・ 市立長野高校・中学校を核とした実践を長野市及び長野県全域に広げていくこと

※別紙添付2/2

3 協定期間

この協定の有効期間は、2019年4月1日から2022年3月31日までの3年間とする。ただし、双方いずれかから改訂の申し入れがあったときは、協議の上、変更できるものとする。

4 その他

この協定に定めるもののほか、必要な事項は、双方協議の上、別に定める。

以上の協定締結の証として、この協定書2通を作成し、双方記名押印の上、各自1通を保有する。

平成31年3月29日

長野市立長野高等学校・長野中学校

校長 菅沼



特定非営利活動法人 青春基地

代表理事 石黒 和己

